

地域共創推進室ニューズレター

■ 創刊のご挨拶



室長 加藤 博一

地域共創推進室は、「南都銀行」のご支援の下、生駒市や奈良県など地方自治体と連携し、バックキャスト型研究開発を通じてイノベーションを創出する産官学共創を推進します。この取組をより一層発展させるためには、推進室と研究者の連携が鍵となり、その一助となるよう定期的にニューズレターを発行することとしました。

地域共創推進室の活動を知っていただき、うまく活用いただければと思います。

■ Topics

◆ EV カーシェアリング実証実験実施中

地域共創推進室では、5月より情報科学領域の松本健一教授を室員（兼務）としてお迎えし、研究室で取り組む「モビリティオークション実証研究」をサポートしています。皆様、ご利用されましたでしょうか？EVカー5台で運用しており、トークンを利用し、オークションにて利用権を獲得する仕組みやNAIST、学研奈良登美ヶ丘駅 ATR 等で貸出・乗り捨て可能なカーシェアリングシステムとなっています。



◆ JST 次世代科学技術チャレンジプログラム（高校型）が採択されました

科学技術振興機構（JST）による「次世代科学技術チャレンジプログラム（高校生型）」において、松本健一地域共創推進室/先端科学技術研究科情報科学領域教授を実施担当者とする「『共創』がはぐくむ主体性の未来 高院の連携実績と広範な学術国際・地域連携ネットワークで挑む次世代型理数系人材の育成」が採択されました。

松本教授によるプログラムは高校生を対象としたものであり、県内外の教育機関、地元企業、グローバル企業と連携し、講義・演習・ラボステイ・サイトビジットなどを実施し、この育成プログラムを通じて、次世代のデータサイエンス技術等を駆使して特定分野・地域・国際的に活躍する理数系人材の育成を目指します。実施期間は令和5年度から令和9年度までの5年間で全国の高校から合計計200名の受講生を受け入れます。

詳しくは、NAIST-STELLA ウェブページ <https://sites.google.com/view/naist-stella/> をご覧ください

◆ 島津共催セミナーが開催されました

6月16日（金）、株式会社島津製作所基盤技術研究所（けいはんな）みらい共創ホールにて、地域共創推進室と島津製作所の共催でセミナーを開催しました。このセミナーは奈良先端大の研究者と島津製作所の技術者の交流を目的として企画され、今回が第二回目です。セミナーではマテリアルズインフォマティクス研究室の藤井幹也教授が、「デジタル技術による物質材料探索とプロセス最適化」について講演を行いました。

◆ 『ならぐるりデジタルマップ』実証実験開催中

観光動画キュレーションによる観光・購買行動分析に関する研究プロジェクト（諏訪博彦情報領域准教授と南都銀行との共同研究）の中で、『ならまちぐるりデジタルマップ』の実証実験が6月1日からはじまりました。この実証実験は、奈良市旧市街地・ならまちの周遊を促進し、観光客の購買行動に関するデータを集め、観光振興につなげることを目的としており、8月31日まで実施しています。奈良市総合観光案内所で利用できるほか、南都銀行の観光サイト <https://www.nantokanko.jp/tokushu/23815.html> から利用できます。



ご利用方法
1. 23815-199
2. 奈良市総合観光案内所
3. 観光動画による購買行動分析に関する研究プロジェクト

【企画・編集】

奈良先端科学技術大学院大学
地域共創推進室

〒630-0192 奈良県生駒市高山町 8916 番地の 5

Tel/Fax:0743-72-5090 Email:Co-creation@ad.naist.jp

<https://www.naist.jp/collaboration/co-creation/>

奈良先端大

